福岡マーケット開発部







WAGAMACHI INFO

明治安田生命







福岡マーケット開発部の取組み

主なSDGsの取組み







当社は福岡県内の29市町村(2023年6月1日時点)と連携協定を締結しています。 その中で、福岡マーケット開発部は福岡市と北九州市に拠点を置き活動しています。 また、福岡県をはじめとした多くの企業さまと連携協定を結び、私たちの地元 福岡県を盛りあげるべく、「ひとに健康を、まちに元気を」お届けしています!

福岡支社 連携協定

- 1 那珂川市
- 7篠栗町
- 2志免町
- 8春日市
- 3 須恵町
- 9福津市
- 4 粕屋町
- 10字美町
- 6 宗像市
- ①太宰府市
- 6新宮町
- **12**筑紫野市

福岡市

福岡マーケット開発部

福岡第一,第二,第三,第四,第五マーケット開発室

福岡トレーニングセンター

- 私の地元応援募金の実施
- ●健康測定イベントの開催
- ●ボランティア活動を通じた地域貢献活動
- ●地域住民のみなさまの生活課題に対する行政 サービス等の情報をお届けするCW活動



2023年度 **地元フフリート広**

地元アスリート応援

柔道

姥 琳子さん

2022年度 **お客さま満足度調査**

71.5%

福岡本部 連携協定

- ●福岡県
- ●全国健康保険協会 福岡支部
- ●福岡県商店街連合会
- ●福岡県商店街振興組合連合会



※連携協定締結順に記載

※2023年6月1日時点

「みんなの健活プロジェクト」の取組み

福岡・北九州エリアでの がんセミナーの開催

- ●専門講師による陽子線セミナーなどを定期的に開催し、「がん」に関する、医療技術をはじめとした最新の健康知識をご提供しています。
- ●多くのお客さまから「勉強になった」と 高い評価をいただきました。





日本女子プロゴルフ・ トーナメント会場 における健康チェック イベント

- ●5月に開催された『RKB×三井松島レディス』大会において「血管年齢測定」 をはじめとする健康チェックイベントを 開催しました。
- ●当社はJLPGAのオフィシャルパートナーとして、年複数回にわたるゴルフ会開催などゴルフを通じて健康増進を応援しています。

福岡県と連携した ヨガイベントの開催

- ●舞鶴公園などにおいてヨガイベントを開催し、地域のみなさまと交流しました。
- ●会場では「血管年齢測定」をはじめとする健康チェックイベントを同時に開催し、みなさまに満足していただきました。





『全員がサポーター』としてのJリーグ応援

サッカー教室の開催

- Jリーグ選手 OBをお招きして、小学生 向けサッカー教室を2回開催しました。
- ●懸命に走り回る子どもたちと、見守る保護者の方々が一体となって楽しく過ごせました。





楽しく歩いた <mark>Jリー</mark>グウォーキング

●健康増進の基本であるウォーキングについて、Jリーグ選手OBの武田修宏さんをお招きし、10月の秋空の下、福岡市東区の公園をお客さま・職員約200名で楽しく歩きました。



Jリーグ応援イベント における清掃活動

- J リーグウォーキングやお客さまとのス タジアム観戦の日には、会場周辺のゴミ 拾い清掃活動を行いました。
- ●これからも、様々なイベント開催時に取組んでいきたいと思います。



8 ©J.LEAGUE

「地元の元気プロジェクト」による地域貢献活動

西新商店街における 「夢まつり」

- ●西新商店街の「西新サザエさん通り」に て行なわれた「夢まつり」において健康 チェックイベントを開催しました。
- ●地域の多くのみなさまに参加いただき、 交流を図ることができました。





和白干潟クリーン作戦 ボランティア活動の 取組み

- ●参加型ボランティア活動として、和白干 潟のクリーン作戦に今年も参加しました。
- ●最終的にゴミ袋57袋分を回収することができ、地域の美化に貢献できました。

舞鶴公園の清掃活動 ボランティア活動の 取組み

- ●福岡市内の舞鶴公園内の清掃を行ないました。花壇の植え替えも手伝わせていただきました。
- ●多くのゴミを回収し、公園の景観向上や 環境保全にもつながれば良いと思います。



未来世代へ向けた「地元の元気プロジェクト」

小学生向け 金融セミナーの開催

- ●地元の小学校や少年スポーツクラブにおいて金融セミナーを開催しました。生徒さんは興味津々に耳を傾けていただきました。
- ●これからも開催回数を増やしていく予定です。









地域の大学における 金融セミナーの開催

- ●当社職員の母校のゼミなどの繋がりを活かして、複数の大学において金融セミナーを開催しました。
- ●社会人間近の大学生に満足できる内容として好評をいただき定期的に開催することとなりました。

子ども食堂への 弁当箱の寄付

- ●地元の子ども食堂では、コロナ禍で集合しての食事ができず、テイクアウト型での食事提供となり、食器不足で困っていました。
- ●繰り返し使えるよう、お弁当箱を寄付し、 子どもたちのおいしい笑顔に貢献できま した。

